

## 科学家ちきん・すずめによる スペシャル爆笑サイエンスショー!!

5/5(日)に GW 恒例のスペシャルサイエンスショーを開催しました。今年は当館お馴染みの科学家ちきん・すずめこと北野貴久先生と西村美保さんによる『科学忍者学園、忍者の卵すずめ奮闘記』でした。忍者学校に入学したすずめちゃんが悪戦苦闘しながら忍術を手に入れるのですが、逆にちきん先生はすずめちゃんに振り回されっぱなし。細い麻ひもでわりばしを折ったり、手首を縛った縄をすりと抜いたり、一瞬で風船を割ったり、中でもちきん先生の顔の上のう〇こ（おもちゃ）が落ちるようにすずめちゃんがわざと失敗するシーンは、大爆笑でした。笑いの絶えない掛け合いの中にも子どもの目線に立った『なぜ?』の問いかけが多くくみこまれた科学的に考えられる手法は見事な物でした。子どもたちが目をきらきらさせながらショーを見ていたのが印象的でした。中には毎回楽しみに観に来てくれる北野先生の根強いファンもいて、私たちもとても嬉しく思います。北野先生、次回も楽しみに待っています。



## どちらの先生も最高! ワークショップバトルを開催

5月12日(日)「2人の実験名人による天文ワークショップバトル」を開催しました。2人の講師をお迎えして2種類のワークショップを体験する形は、体験館でも初めての試みです。午前と午後の2回行いましたが両方とも満員の申込みとなりました。

1人目の先生はカンボジア在住の間々田和彦先生。地球や太陽などの天体の大きさを手作り活動を通して体感できる内容でした。会場からは「太陽ってこんなに大きいの!？」と、地球の大きさとの違いに驚く声が聞かれました。2人目の先生は理化学研究所の関口芳弘先生。スライム作りを通して日本の技術力の高さを知る内容でした。高分子ポリマーがどこまで水を吸水できるかの実験も興味深いものでした。

バトルの結果は、午前・午後で間々田先生と関口先生が1勝1敗の引き分けでした。参加者は小学1～6年生までの幅広さでしたが、たくさんの笑顔が見られ充実した内容に大満足の様子でした。

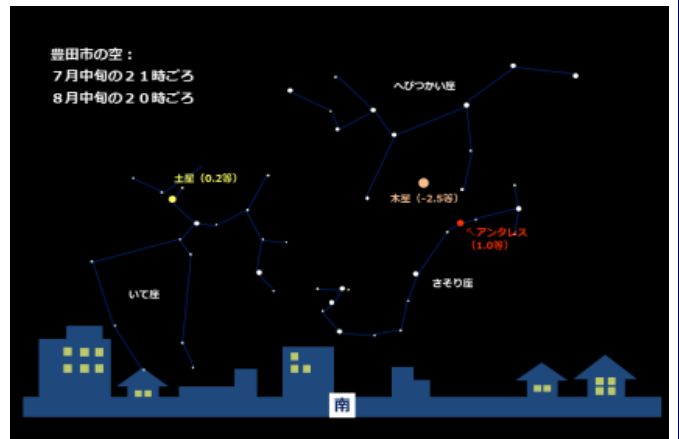


## ★天文トピックス★ 「木星と土星を見よう！」

梅雨が明けると、春の星座が西へ傾き夏の星座が本番をむかえます。

今年の夏、惑星の主演は木星と土星です。木星はへびつかい座のあたりに、そして土星はいて座のあたりで見ることができます。夜空では、木星は-2.5等前後、土星は0.2等前後と、ほかの星に比べてひときわ明るく輝いていますので見つけやすいでしょう。(図を参照)

また、このあたりには夏の天の川が広がっています。まるで天の川をはさむように輝く木星と土星は、七夕のおりひめさま、ひこぼしさまのようです。7月21日からの「星空散歩」(日曜日14:30の回)では『天の川にならぶ木星と土星』と題して詳しく紹介します。また体験館の星空観望会「まちぼし」(7月13日と8月10日に開催)では、望遠鏡でその姿を見ることが出来ますよ。この夏は木星と土星に注目しましょう!

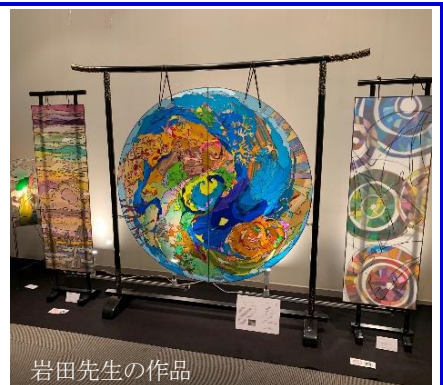


## フィルムステンドグラスの魅力に挑戦!

5月26日(日) 指導講師: ステンド硝子アートデザイナー 岩田知子先生

5月・6月のプラネタリウム「星空散歩」のテーマは、「南十字星を探しに」でした。その中に登場する「プロキシマケンタウリ」を題材に「Super Earth」を制作された岩田知子先生を講師にお迎えし、ワークショップを開催しました。開始前には、色ガラスのような輝きを放つ見本の作品に魅せられたのか、当日申込みが殺到しました。終わってみれば、小学生の親子を中心に45組の皆さんが、思い思いの作品「プラネットアート」を仕上げました。

「本物のステンドグラスみたいに作れてうれしい」(小1男児)「カーブの所にリードを付けるのが少し難しかった」(小3女児)「宝物、ひとつ、増えた!」(小1女児)「今度は太陽系を作りたい」(小1男児)。フィルムステンド作品の魅力がお客様にも伝わったワークショップでした。



岩田先生の作品